2027年度特別選抜（海外帰国生徒・社会人）

事前課題レポート（心理教育学科）課題・作成の手引き

事前課題レポート課題（A・B日程共通）

近年（ここ5年程度）の日本における国民のメンタルヘルス、教育、保育に関する問題の中から一つ取り上げ、どのようなことが指摘されているのか論じなさい。

また、その問題に対してあなたが考える対応策について、期待される効果もふまえて具体的に論じなさい。

事前課題レポート作成の手引き

事前課題レポートでは、心理学や教育、保育への興味関心、社会的な課題について調べる力、倫理的に自分の考えを説明する力、そして、文章の表現力について評価します。レポート作成にあたっては、この手引きをよく読み、以下に記された内容に注意しながら取り組んでください。

必ず守ってほしいこと

①**文字数：**2,000字程度

②**用　紙：**パソコンでレポートを作成する場合には、A4でプリントアウトしてください。手書きの場合には、A4（400字詰め・横書き）の原稿用紙を使ってください。表紙は不要ですが、始めにレポートのタイトルと氏名、文末には総文字数を記載してください。

③**引用・参考文献の引用について：**各自で考え作成し、提出してください。

2027年度特別選抜（海外帰国生徒・社会人）

事前課題レポート（人間科学科）課題・作成の手引き

事前課題レポート課題（A・B日程共通）

あなたが人間科学科に入学して学びたいと思っていることについて調べ、その内容を簡潔に紹介した上で考えたことを記してください。その際、関心を持つようになったきっかけについても、これまでの経験や体験と結び付けながら具体的に述べてください。（2,000字程度）

【注意】
1）レポートにはタイトルを付けてください。
2）内容のまとまりごとに小見出しを付けてください。
3）参考文献を必ず記載してください。

事前課題レポート作成の手引き

レポート作成にあたっては、この手引きをよく読み、以下に記された内容に注意しながら取り組んでください。

必ず守ってほしいこと

①用　　紙：パソコンでレポートを作成する場合には、A4の用紙を使用してください。手書きの場合には、A4の400字詰め原稿用紙を使用して、横書きで書いてください。

②表　　紙：レポートのタイトルと氏名を記した表紙を、A4の用紙で作成してください。（任意様式）

③文 字 数：レポート課題の指示に従ってください。ただし、以下のものは文字数としてカウントしないので、注意してください。
・図表のタイトルや図表（グラフなど含む）内の文字
・参考文献

④文　　章：文章は内容のまとまりごとに分けて、小見出しを付けてください。
段落の最初は一字あけてください。また、句読点（「、」「。」）を適宜使用してください。

⑤引　　用：本やインターネットなどで読んだ文章をそのまま引用する場合には、当該部分を「 」でくくり、引用部分の終わりに出典（著者の姓、出版年、該当ページ）を必ず示してください。他の人が書いた文章と、自分が書いた（考えた）内容を区別しないと盗用になるので、必ず区別してください。

例　制野は、子どもたちは「自分たちで問いを立てたがっている」（制野 2016、p.177）と述べている。

※制野俊弘、2016年『命と向きあう教室』ポプラ社、の177ページから引用した場合の例。

図表（グラフなど含む）は自由に入れて構いません（貼り付けも可）。その場合も、引用した図表（グラフ）下に出典を必ず示してください。

⑥参考文献：参考にした文献は、以下の形式通りに書き、著者名（またはホームページ名）の五十音順に並べてレポートの最後に記載してください。
［本の場合］著者名、出版年『本のタイトル』出版社名。
［雑誌の場合］著者名、発行年「論文タイトル」『掲載雑誌タイトル』号、掲載ページ。
［インターネットの場合］ホームページ名と記事が掲載されているURL、参照した日付。
※インターネットの情報を使う場合には、信頼できる情報（例えば政府の統計、地方自治体のホームページやNGO／NPOの公式ホームページなど）を参照するようにしてください。

例　制野俊弘、2016年『命と向きあう教室』ポプラ社。
和光大学ホームページ（https://www.wako.ac.jp/index.html）（20○○年○月○日参照）

⑦確　認：レポートを書き終えたら、必ず読み返し、誤字や脱字、日本語としておかしいところがないかどうか、確認してください。

より良いレポートを書くためのアドバイス

自分が述べたいことを他の人に分かりやすく伝えるためには、情報を分類・整理してまとまりを付け、文章を論理的に展開する必要があります。レポートを書き始める前に、まず構成をしっかりと考えてください。

また、レポートは思い付きや決め付けでまとめるのではなく、根拠や裏付けを示しながら書いてください。資料やデータ、事実、例を示したり、比較をしたり、どのような場合に自分の主張が成り立つのかといったことを意識しながらまとめていくことが大切です。

関心事について調べる際には、インターネット上の資料のみに頼るのではなく、できるだけ本や論文も読んでください。

◎以上を参考に、レポートを作成してください。

皆さん自身が書いたレポートをもとに面接をしますので、提出にあたっては、控え（コピーなど）を必ずとっておいてください。

2027年度特別選抜（海外帰国生徒・社会人）

事前課題レポート（総合文化学科）課題・作成の手引き

事前課題レポート課題（A・B日程共通）

次の三つの課題から一つを選んでレポートを作成すること（2,000〜2,400字）。
その際、内容にふさわしいタイトルを付けること。

課題1　一つの作品（文学、演劇、映像、音楽など分野は問わない）を取り上げ、どのような作品なのかを述べなさい。また、その作品は現代の文化や社会においてどのような意味を持つ（または影響を与える）と考えられるか、根拠を示しながら考察を述べなさい。

課題2　一つの作品（文学、演劇、映像、音楽など分野は問わない）を取り上げ、どのような作品なのかを述べなさい。また、その作品は歴史的にどのような意味を持った（または影響を与えた）のかを調べて述べなさい。

課題3　ある地域または時代の文化（ことば、神話、生活文化、芸術、芸能などを含む）から、あなたにとって特に興味をかきたてられるものを取り上げ、それがどのような意義を持つかを述べなさい。

※どの作品・文化を選んだかは、評価に影響しません。

事前課題レポート作成の手引き

総合文化学科では、受験生の皆さんが自身の関心について、時間をかけて丁寧に調べ、自分の頭で考え、問題を取り出して、きちんと論じた「事前課題レポート」というかたちにできているかどうかに注目して合否を判定します。面接では、レポートの内容についての質問だけでなく、皆さんがレポート作成の中でどのような努力をしたかについても質問し、評価を行います。

レポート作成する前に、そしてその途中でも、この「手引き」をよく読み、以下に記された内容に注意しながら取り組んでください。

文字数について

2,000〜2,400字で作成してください。

以下のものは文字数としてカウントしません。
- 図表（写真など含む）内の文字
- 図表のタイトル
- 引用や参考文献の注記（書名、文献名、著者名、URLなど）

必ず守ってほしいこと

①用　紙：パソコンでレポートを作成する場合には、A4の用紙に印刷してください。手書きの場合には、A4の400字詰め原稿用紙を使ってください。横書き、縦書き、どちらでもOKです。

②表　紙：レポート内容にふさわしいタイトルを考え、そのタイトルと氏名を表紙に記してください。また、表紙はレポート本体にクリップ留めしてください。

③文　　章：主語と述語がある文を用いて文章を書いてください。一文の中で主語と述語がねじれたりしないように、明晰な文を書くようにしましょう。そして、内容のまとまりごとに段落分けをし、段落の最初は一字あけてください。また、句読点（「、」「。」）の使用を忘れずに。

④引用や参照：本やインターネットなどで自分の論に必要だと思われる文章を見つけ、それを引用する場合には、引用する文章や語句を「　」でくくって、どこからどこまでが引用した表現なのかを必ず示してください。

引用元の筆者名、タイトル（書名、記事名）、出版社名、刊行年など、必要な事柄をレポート本文または末尾に明記してください（「注記」と言います）。本文中に示す場合は（　）でくくって、末尾に示す場合は箇条書きとしてください。

インターネットの記述を引用する場合にも「　」でくくるのは同様ですが、引用元のURLは長くなりがちなので、この④末尾の（実線の囲み内）※を参考にして、記事名とともに（そして、閲覧した年月日も）レポート末尾に注記しましょう。URLは字数に含めません。

他の人が書いた文章やインターネットの記述などと、自分が書いた（考えた）内容をはっきり区別しないと盗用になります。

自分の撮ったものを含め、写真を挿入する場合は、引用元のURLを、撮影者が出願者本人である場合は「撮影年月日」と「本人撮影」との文言を付け加えてください（これも字数に含めません）。

二次元コードを付ける場合、その参照先は出願者本人に直接関わるものだけにしてください。

こうした引用や文献の参照法については、入学後に詳しく学び直しますが、このレポートでもしっかり注意して書いてください。

- **《例1》エリック・サティは「芸術には真理というものは存在しない」(『卵のように軽やかに』ちくま学芸文庫、2014年、p.72) と述べているが、作曲家のサティが言うことなので、音楽以外にも当てはまるかは疑問だと私は思う。**
- **《例2》「日本標準時グループ」ホームページの「うるう秒の対応」(https://jjy.nict.go.jp/tsp/link/JST.html) には「2006年1月1日8時59分59秒の直後にうるう秒が挿入され」とあって、2006年という年はいつもより1秒長かった事が分かった。**

上の例で、網掛け部分は、レポートを書いた受験生の表現で、「　」内が引用した表現です。（　）内の部分は、引用した文や表現の書誌またはURL（出所〈でどころ〉）です。手書きの場合はURLを書くのは大変なので、省略して構いません。（網掛けと　は例示のために付しました）

※（　）内の書誌の記述が長くなりすぎる場合には、引用した箇所に「注1」または「＊1」などの記号を付けて、レポート末尾に番号順に記しても構いません。

⑤確　　認：レポートを書き終えたら必ず読み返しをして、誤字や脱字、日本語としておかしなところがないかどうか、確認してください。

より良いレポートを書くためのアドバイス

①全体を見渡す視点を忘れずに

あなたの考えたことを分かりやすく伝えるために、内容に即して適切な形式段落を作ることが大切です。一つ一つの文をきちんと書くことはもちろん大切ですが、文章全体の中での位置づけに配慮する視点も忘れないようにしましょう。

②根拠を示すことを忘れずに

レポートには、あなた自身の考えを書いてもらいますが、「こう考えた」「こう思う」だけではなく、なぜそう考えたのか、どうしてそう思うのかということの根拠を示していく姿勢を忘れないでください。

レポートは感想文ではありません。
自分で調べて、自分で考えた事柄について根拠を示して論理的に構成した文章です。

2027年度特別選抜（海外帰国生徒・社会人）

事前課題レポート（芸術学科）課題・作成の手引き

事前課題レポート課題（A・B日程共通）

あなたが一番好きなアート・デザイン作品（絵画、彫刻、インスタレーション、写真、映画、本や雑誌、広告、パッケージなどを含む）のタイトル、作者名、制作年を挙げ、どのような表現かを記述し、あなたがすぐれていると感じるポイント、社会的評価または歴史的背景について考えたことや調べたことなどを1,500字程度で書きなさい（参考にした資料がある場合は、資料のタイトルと作者も最後に添えること）。

事前課題レポート作成の手引き

芸術学科では、受験生の皆さんが自身の関心について、時間をかけて丁寧に調べ、自分の頭で考え、問題を取り出して、きちんと論じた「事前課題レポート」というかたちにできているかどうかに注目して合否を判定します。面接では、レポートの内容についての質問だけでなく、皆さんがレポート作成の中でどのような努力をしたかについても質問し、評価を行います。

レポート作成する前に、そしてその途中でも、この「手引き」をよく読み、以下に記された内容に注意しながら取り組んでください。

文字数について

1,500字程度で作成してください。

以下のものは文字数としてカウントしません。

- **図表（写真など含む）内の文字**
- **図表のタイトル**
- **引用や参考文献の注記（書名、文献名、著者名、URLなど）**

必ず守ってほしいこと

①用　　紙：パソコンでレポートを作成する場合には、A4の用紙に印刷してください。手書きの場合には、A4の400字詰め原稿用紙を使ってください。横書き、縦書き、どちらでもOKです。

②表　　紙：レポート内容にふさわしいタイトルを考え、そのタイトルと氏名を表紙に記してください。また、表紙はレポート本体にクリップ留めしてください。

③文　　章：主語と述語がある文を用いて文章を書いてください。一文の中で主語と述語がねじれたりしないように、明晰な文を書くようにしましょう。そして、内容のまとまりごとに段落分けをし、段落の最初は一字あけてください。また、句読点（「、」「。」）の使用を忘れずに。

④引用や参照：本やインターネットなどで自分の論に必要だと思われる文章を見つけ、それを引用する場合には、引用する文章や語句を「　」でくくって、どこからどこまでが引用した表現なのかを必ず示してください。

引用元の筆者名、タイトル（書名、記事名）、出版社名、刊行年など、必要な事柄をレポート本文または末尾に明記してください（「注記」と言います）。本文中に示す場合は（　）でくくって、末尾に示す場合は箇条書きとしてください。

インターネットの記述を引用する場合にも「　」でくくるのは同様ですが、引用元のURLは長くなりがちなので、この④末尾の（実線の囲み内）※を参考にして、記事名とともに（そして、閲覧した年月日も）レポート末尾に注記しましょう。URLは字数に含めません。

他の人が書いた文章やインターネットの記述などと、自分が書いた（考えた）内容をはっきり区別しないと盗用になります。

自分の撮ったものを含め、写真を挿入する場合は、引用元のURLを、撮影者が出願者本人である場合は「撮影年月日」と「本人撮影」との文言を付け加えてください（これも字数に含めません）。

二次元コードを付ける場合、その参照先は出願者本人に直接関わるものだけにしてください。

こうした引用や文献の参照法については、入学後に詳しく学び直しますが、このレポートでもしっかり注意して書いてください。

- **《例1》エリック・サティは「芸術には真理というものは存在しない」（『卵のように軽やかに』ちくま学芸文庫、2014年、p.72）と述べているが、作曲家のサティが言うことなので、音楽以外にも当てはまるかは疑問だと私は思う。**
- **《例2》「日本標準時グループ」ホームページの「うるう秒の対応」（https://jjy.nict.go.jp/tsp/link/JST.html）には「2006年1月1日8時59分59秒の直後にうるう秒が挿入され」とあって、2006年という年はいつもより1秒長かった事が分かった。**

上の例で、網掛け部分は、レポートを書いた受験生の表現で、「　」内が引用した表現です。（　）内の＿＿部分は、引用した文や表現の書誌またはURL（出所〈でどころ〉）です。手書きの場合はURLを書くのは大変なので、省略して構いません。（網掛けと＿＿は例示のために付しました）

※（　）内の書誌の記述が長くなりすぎる場合には、引用した箇所に「注1」または「＊1」などの記号を付けて、レポート末尾に番号順に記しても構いません。

⑤確　　認：レポートを書き終えたら必ず読み返しをして、誤字や脱字、日本語としておかしなところがないかどうか、確認してください。

より良いレポートを書くためのアドバイス

①全体を見渡す視点を忘れずに

あなたの考えたことを分かりやすく伝えるために、内容に即して適切な形式段落を作ることが大切です。一つ一つの文をきちんと書くことはもちろん大切ですが、文章全体の中での位置づけに配慮する視点も忘れないようにしましょう。

②根拠を示すことを忘れずに

レポートには、あなた自身の考えを書いてもらいますが、「こう考えた」「こう思う」だけではなく、なぜそう考えたのか、どうしてそう思うのかということの根拠を示していく姿勢を忘れないでください。

レポートは感想文ではありません。
自分で調べて、自分で考えた事柄について根拠を示して論理的に構成した文章です。

2027年度特別選抜（海外帰国生徒・社会人）

事前課題レポート（経済学科・経営学科）課題・作成の手引き

事前課題レポート課題（A・B日程共通）

近年、注目されている「デジタル赤字」について、（1）その現状と背景を説明し、（2）それがあなたの普段の生活（あなたの消費行動）とどのように関連しているか、具体的な事例を挙げながら考察しなさい。（3）その上で、他の国や地域の事例を参考にしつつ、政府や企業が取りうる対策について述べなさい。

事前課題レポート作成の手引き

経済学科・経営学科の事前課題レポートでは、経済や経営を含む社会のさまざまな現象への関心、社会的な課題について調べる力、論理的に自分の考えを説明する力、そして、文章の表現力について評価します。レポートの作成にあたっては、この手引きをよく読み、以下に記された内容に注意しながら取り組んでください。

必ず守ってほしいこと

①用　紙：A4（400字詰め・横書き）の原稿用紙を使って、手書き（鉛筆・シャープペンシル使用）で作成してください。

②表　紙：レポート内容にふさわしいタイトルを考え、そのタイトルと氏名を表紙に記してください。また、表紙はレポート本体にクリップ留めしてください。

③文字数：2,000～2,400字

④引　用：参考文献の文章をそのまま引用（直接引用）する場合には、引用部分を「　」でくくり、引用部分の終わりに（　）を挿入し、（　）内に著者の姓、出版年、該当ページを記載してください。また、参考文献の文章を要約して引用（間接引用）する場合にも引用部分の終わりに（　）を挿入し、（　）内に著者の姓、出版年、該当ページを記載してください。

例　梅根悟は「大学は自由な研究と学習の共同体でなければならない」（梅根1975、p.67）と述べている。

⑤レポートの構成：レポートは次の(1)～(4)の手順で作成してください。

(1)テーマの現状および背景を述べてください。

・書籍・論文・雑誌記事・新聞記事・ウェブサイトなどを調べて、テーマの現状および背景をまとめてください。

(2)それがあなたの普段の生活（あなたの消費行動）とどのように関連しているか、具体的な事例を挙げながら考察してください。

・(1)と同様の方法で、まとめてください。

(3)他の国や地域の事例を参考にしつつ、政府や企業が取りうる対策についてまとめてください。

・(2)で考察したことをふまえて、政府や企業が取りうる対策を具体的かつ論理的にまとめてください。「こう考える」「こう思う」だけではなく、なぜそう考えるのか、どうしてそう思うのか論理的根拠を示してください。面接では、ここに示されたあなたの意見を中心に質問を行いますので、必ず自分の力で考えるようにしてください。

(4)レポートの最終ページに参考文献を記載してください。

・参考にした書籍・論文・雑誌記事・新聞記事などを全て列挙してください。

・文献の示し方

①書籍　著者名『書籍のタイトル』出版社名、○○年。

②論文　著者名「論文のタイトル」『掲載雑誌名』○○巻○○号、○○年。

③雑誌記事　著者名「記事のタイトル」『掲載雑誌名』○○巻○○号、○○年。

④新聞記事　○○新聞「記事の見出し」○○年○○月○○日。

⑤ウェブサイト　○○ホームページ（ホームページのURL）（○○年○月○日参照）

※参考文献は文字数としてカウントしませんので、注意してください。

※インターネットの情報を使う場合は、信頼できる情報（例えば政府などの公的機関のホームページ）を参照するようにしてください。